



2016年8月25日（木曜）～27日（土曜）
クマさん会 20 周年記念「一合目から登る富士山」②
26日：佐藤小屋（2230m）～剣ヶ峰（3776m）
～Report by 石井 （photo by 参加者のみなさん）

2日目、いよいよ剣ヶ峰登頂である。今日の行動計画は、各自起床、6：00前に佐藤小屋玄関前に集合。出発。6合目から順次登って行く、特に7合目（2700m）以降は、高度順化と高山病対策の為、ゆっくりと登るように心掛け万全を期したい。吉田口頂上までのプランとしては、標準コースタイム6時間に対して20%プラスの7時間10分を予定している。行程としては、8時間程度だ。その後、剣ヶ峰に向かう。



3 時前の月（熊本さん撮影）



吉田の町明かりが見える



5：09・日の出



富士の山小屋の出入りはいろいろで、仮眠して夜半に登り始める人・朝ゆっくり目にスタートするGP 我々の様に早朝に登り始め午後に山頂に立つ人達・その日に下山する者・頂上に泊まる人・7～8 合目で仮眠して、ご来光に合わせて登頂し下山する人々・実に様々だ。昨夜は満タンだった靴箱は、半数もないご主人がストーブに火を入れてくれた。標高が2200m程あると夜明け前は冷え込んでくる



昨夜の個室は落ち着いた
敷きマットのクッションも厚く、心地よかった
快適な眠りだった



徘徊中の朝日に映える？同室のおじさん二人



4？も元気に早起きだった



めいめいが、朝の体調や好みに合わせ
行動食か、用意したランチ用の弁当を食べるかだ
女性軍は弁当をペロリ
今日の動きは期待できるかも？



私の前の方は、小屋のご主人
奥さんと、ご主人のコンビが面白い
テキパキの奥さんの話を
さらりと、受け流す
奥さんは、「ぶっきらぼー？」の様だが
客の面倒見がいい
「吉田の火祭り」の話をした
昔、世話役をやったそうで、バブルの頃 3000
万の祝儀を貰い、吉田の飲み屋を総なめにし
たそうだ
話がいろいろと弾んだ
いい宿だ！ また泊まりたいと思った





5：53・恒例の出発前の記念撮影



気合入れの準備運動開始。元気だ～！



本日は言うまでもなく「快晴」
千載一遇の登山日和となった
すこぶる爽快な天気だったので
数十歩・歩いて、もうワンショット
(登山道なので合成写真)

暫く行くと



ヤマハハコ



キオン



スタヤクシュ？



ミヤマオトコヨモギ



ヤマホタルブクロの白花



「経ヶ岳」到着。立像の基部に「立正安国」とあるから「日蓮上人」か・・・（案内板に書いてあった）



昨日、馬返しから歩いて来て
今日のこうしたお堂なども見ると
六合目までの富士山は
なるほど「世界文化遺産」なのだと思いなおした
熊野古道の様に、少々知識を得てから歩くと
面白いのかも知れない



疎林を抜けると、絶好調の景色が目飛び込んで来た



熊本さんを先頭に、ゆっくり目で歩を進め、六合目（2390m）の「富士山保善協力受付所」に到着



富士山保全協力金¥1000也を寄付、富士山の文字が焼き印された「木札とアドバイス本」を頂いた



爽やかな眺めが続く。 14:00過ぎには吉田口頂上・久須志神社に参拝出来るだろう



天気がいいと「こんなポーズになります」。いつもの「芸をして!」、に應える面々



8:06・七合目に向けて歩いている



「花小屋」通過



快晴・気温18℃・快適



花小屋の前には、名にし負う
「ヤナギラン」などの群落
火山の爆発で荒涼となった土地に
いち早く根付くと、見た記憶があるが
これは、植栽されたものだろうか？



「日の出館」です



屋根は、「布団干しの真最中だった」



「トモエ館」。この辺りは山小屋銀座だ。2700mを越したので、休憩を入れながら進む

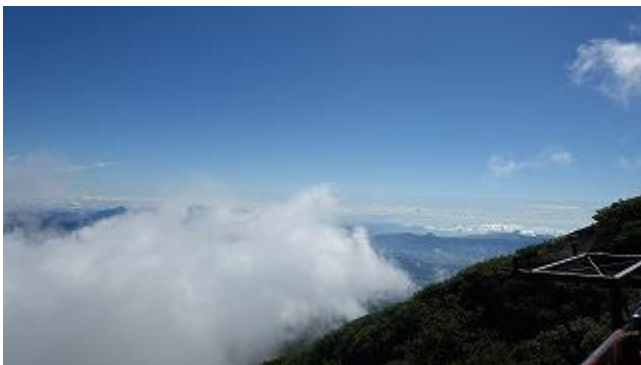




傾斜もきつくなり始め、岩も出て来たので動きがスローになって来た



「鎌岩館」到着。さらに、小休止だ～



休憩しながらの眺めは申し分ない。それにしても、小屋前のベンチはありがたい



9:07・「富士一館」

山頂まで「3.4k・274分（4時間34分）」だ



上方に2900m地点の「鳥居荘」が見えて来たが、ややバテ気味になって来ている



「鳥居荘」到着。あと、810mを登らねば～ 頑張りどころだ！



大瀧女史が

「頭が痛いと言い出した」

なに～「高山病か！」と思ったら

どうも帽子を深く被っているようなので
外させると、くっきりと跡が付いている
きつく被ったので、そこが痛かった様だ

「事なきを得た」

額の向こう傷（跡）が判るか？

やれ・やれ・・・



次は「東洋館」だ～。まるで、巡礼をしているようだ。それだけ需要があるという事だろう



珍しく手書きの「登山道」



こんなところに「イワツメクサ」がある



富士登山は周知の如く外国人も多く、何故だか杖に日章旗を付けた女の子がいた、男の子は日の丸だ



10:51・「太子館」を過ぎたところで大休止・ランチにした（写真は合成です）



「蓬莱亀石・八大龍神」の碑があり、「蓬莱館」の由来か？



11:30・「八合目・白雲荘」。小休止



小屋前のベンチでは、その都度休むようにした



お昼頃にはガスが掛かったり・飛んだりするようになった



所々に赤茶けた土がある



「元祖室（ガンソム口・3250m）」到着。三丁十五間とある。吉田口頂上まで、残り460m



気温1°Cは東京の冬だ。



名付けようが無いのか・「富士山ホテル第一」



この場所で、バナナ¥150は安い気がする：「購入」



「どうしたのかな〜？」



「本八合目？」とはややこしい



「3360m」をクリア、すでに、ここは日本一高い



「頑張れ〜！」 「・・・」・「息を強く吐いて〜」



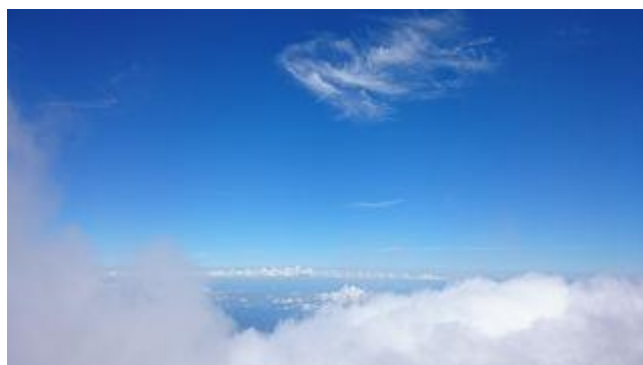
「トモ工館」を通過中



13:07・遠くに「下山道」を歩く人達も見えて来た。



「八合五勺」山頂まで「900m・60分」



さすが、「ご来光館」 雲間がのぞき、太陽が戻って来た



眺めがよくなって来たので、気分転換に記念撮影。登山道なので、合成写真だ



「九合目・3600m」この辺から、足が動かなくなって来た。「どっこいしょ・ヨッコラショ」



頂上直下の鳥居前



全員が揃うのを待って・・・



渋滞が解消したタイミングで記念撮影



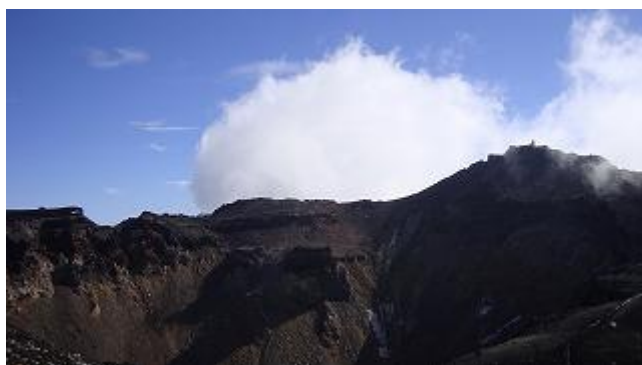
14:50・ゴールへは連なって向かう



鳥居にはお賽銭が埋め込まれていた



14:55・「吉田口頂上・久須志神社前」ここでも、記念撮影だ〜！
 「おつかれさまでした」 佐藤小屋・6:00出発で、行程：8時間55分



久須志神社前でグループを2つに分けることになった
 岡部さん・吉松さん・高橋（文）さん・中島さん・大瀧さん・石井の6人は左回りでお鉢を巡り
 熊本さん・川島さん・小野寺さんの3人は、右回りで行き、「剣ヶ峰」で合流する手はずだ



15:00・左組は、右手に吉田の町を遠望し出発。剣ヶ峰までは1.2K程。約60分の行程だ



出発してから暫くして、記念撮影
登山道では、勿論、合成写真だ



お鉢の壁は含まれる鉱物で色が違うのだろう



万年雪が見える



左回りはアップダウンがあり、3700mだと息が切れる。遠望に「剣ヶ峰の旧・気象観測サイト」



道を半ばほど来たところで、上昇気流によるガスで景色が見えなくなったりした



お鉢の全貌が見えて来た。一周するには約90分かかる様だ



剣ヶ峰に近付くと、「富士山の気象」の解説版があった

<以下は抜粋>

気圧は、平均で638 hpa・地上の三分の二程度

夏は山頂の気温が5℃以下になると、雷雲が発生しやすくなる

冬の平均気温は、最高がマイナス15℃・最低がマイナス22℃

風速は20m～30m、稜線では50%増しになる

*剣ヶ峰で待機していると

熊本さんから、ハンディトーカーで連絡が入り、お鉢巡りは断念するとの事だった



日本最高峰「富士山・剣ヶ峰・3775.63メートル」登頂



「二等三角点・富士山」の解説版である

* 16:00頃 この場所に単独行の主婦一人

「秋田から来ました。山梨の大学にいる娘に会うついでに富士山に。撮って貰えますか？」
「手作りの富士山の絵をかいた手拭いを出し、広げて、ああ撮って、こう写してと・・・」
コンデジとiPhoneでパシャ・かしや。モニターを見せて確認。再度、カシャ・ぱしゃと

剣ヶ峰から～頂上富士館へ向かう途中の景色：いろいろ



宿の近くにある「浅間大社奥宮」にたどり着いた



「浅間大社奥宮」、この時間にはクローズ



すぐ左横にある今宵の宿「頂上富士館」



16:40頃にチェックインして、17:00には夕食だった
この場所は、明日の5:00には食堂・売店に変身するのだ。商売・商売

<頂上富士館>

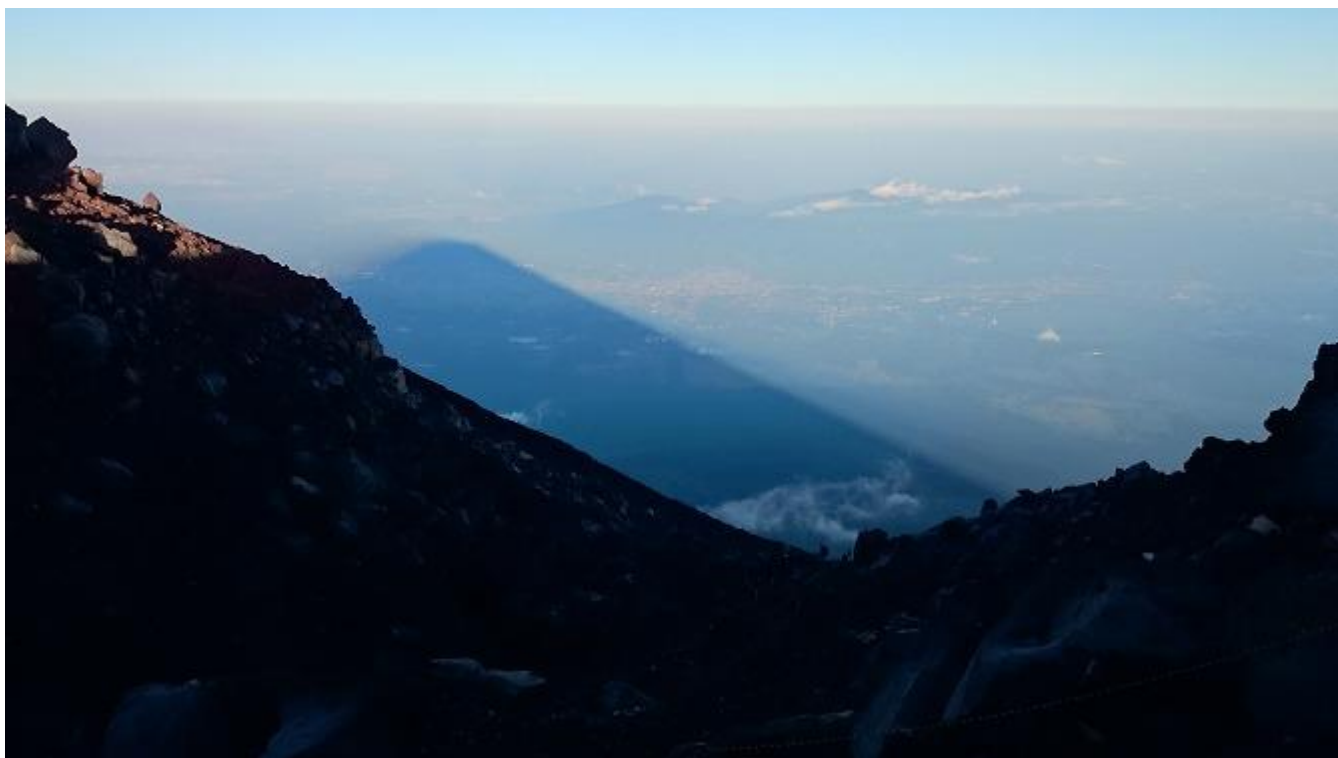
チェックイン・16:00~18:00 チェックアウト・4:30

夕食・17:00 朝食・4:00 消灯・19:00

*消灯以降、19:00~4:00まで玄関の出入りは不可（当日判明）

星空を眺めたかった、早朝のお散歩もしたかったのにね（徘徊や・星をお望みなら、他に泊まるべし）

というわけで、門限の19:00までは、目一杯お散歩



17:40・「影富士が出ていた」



小屋前のテーブルに女性が一人
「星を眺めたら、下山します」
・・・なんと・・・

18:40・暮れなずむ残照の稜線

*今日は写真のリクエストが多かった

頂上直下の鳥居で：US NAVI の屈強GP「O×△＊ Photo!!! OK」

久須志神社前で単独行の外国人女性。この角度でえ～・こう撮ってえ～ほしいです

同宿？の日本人の若者2人：「写真撮って貰っていいっすか？」「ありがとうございますあ～す」

相棒と「チェックインに間に合ってよかったな」と富士館へ・・・など・など

*八合目付近で、「ここから頂上まで何分掛かりますか？」の、おじさんもいた

3人で来て、すでに2人はリタイアして六合目で待ち合わせらしい

登れたのかなあ～

以上、2日目もなんとか終了

夜は長いが、おやすみとします

「お疲れ様でした・・・」

明日の「ご来光」はどうだろう？

「晴れるといいね～」